目次

はじめに …… 2〜6

管理者ツールでできること …… 2

動作環境 …… 5

管理者ツールのインストール …… 6

ポリシー設定ツールの操作 …… 7〜21

ポリシー設定ツールの起動 …… 7

ポリシー設定画面の説明 …… 8

情報漏えい対策 …… 9

パスワードレスキュー …… 11

ウイルス対策 …… 12

資産管理機能 …… 13

ネットワーク配信 …… 16

制限設定 …… 17

本体設定 …… 18

初期化ツールの生成 …… 20

初期化ツールの使用 …… 22

使用許可PCの制限設定 …… 23

使用可能期限の設定 …… 24

ロック解除・パスワード強制変更 …… 25,26

ポリシーのネットワーク経由での配信 …… 27〜29

ユーザー登録・サポート …… 30

ソフトウェア使用許諾 …… 31

はじめに

管理者ツールでできること

管理者ツールは、お客様のセキュリティ・ポリシーに基づいて、セキュリティUSBメモリ「TRAVENTY V / TRAVENTY」に対して、パスワードの桁数・パスワードの文字種・ユーザドライブの遠隔ロック解除機能 等、ポリシー設定・機能追加の個別カスタマイズ、及びそれらを実現するためのツールを含むシステム管理者用ソフトウェアです。

管理者ツールは以下のツールで構成されています。
・ポリシー設定ツール
・期限設定ツール
・レスキューツール
・ネットワーク配信ツール

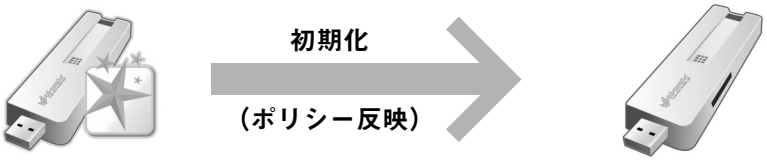
これらのツールはそれぞれ独立してインストールが可能ですので、ツール毎に使用者（インストール先PC）を変更して、お客様の運用に合わせてご利用いただけます。

ポリシー設定ツール
USBメモリのポリシーを設定し、USBメモリへ反映させるための初期化ツールと、USBメモリの動作制限対象PCの判定を行う許可PC判定ツールを作成するソフトウェアです。ポリシー設定ツールの使用方法はP.7～をご参照ください。

ポリシー設定ツール　　初期化ツール　　許可PC判定ツール

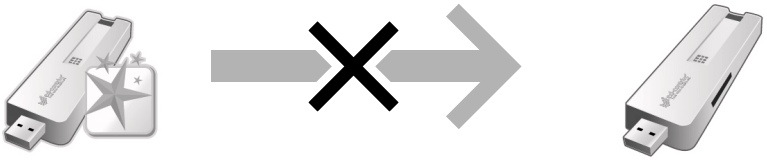
初期化ツール

ポリシー設定ツールで生成する、USB メモリにポリシーを設定するためのツールです。インストール無しで実行可能ですので、初期化ツールを配布し、配布先でポリシーを反映した USB メモリを作成する等の運用が可能です。



ポリシー設定済み USB メモリ

また、個別にポリシー設定が行われた USB メモリでは、予め設定した初期化ツール ID が一致しない限り、別の初期化ツール ID を持つ初期化ツールでの再設定ができませんので無断で設定が変更される心配がありません。初期化ツールの使用方法は P.22 をご参照ください。

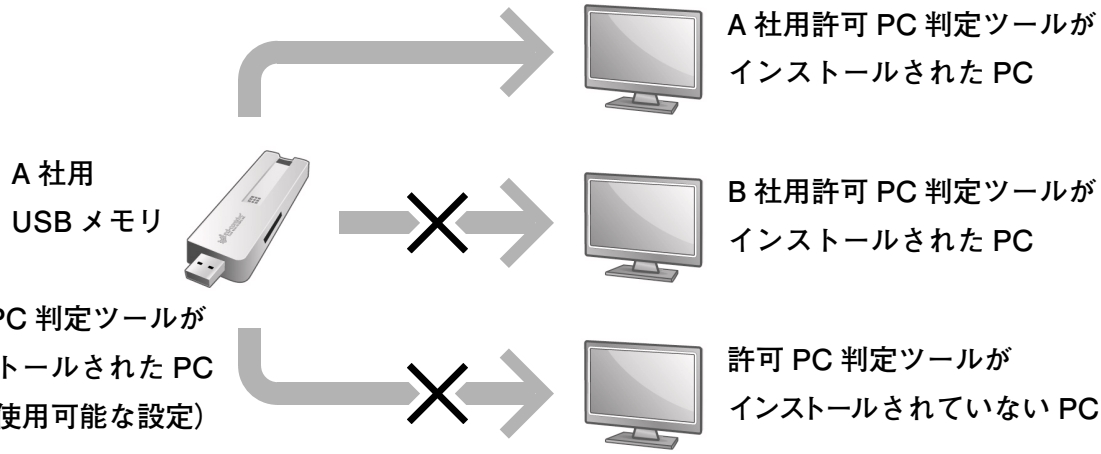


B 社 / 初期化ツール　　A 社用 USB メモリ

許可 PC 判定ツール

ポリシー設定ツールで生成する、USB メモリの動作制限対象 PC を判定するためのツールです。使用可能 PC の制限設定を行った USB メモリは、許可 PC 判定ツールがインストールされた PC でのみ使用を許可する等の制限を行うことが可能です。

許可 PC の判定には、USB メモリと同じ初期化ツール ID が設定された許可 PC 判定ツールがインストールされている必要があります。許可 PC 判定ツールの使用方法は P.23 をご参照ください。



期限設定ツール

期限設定機能が有効に設定されている USB メモリに対して期限を設定／再設定するツールです。期限設定ツールを使用した期限設定方法は P.24 をご参照ください。

レスキューツール

パスワード忘れ／ロック時の救済機能設定が有効な USB メモリに対して、パスワードの強制再設定、及びロック解除を行うために使用するソフトウェアです。レスキューツールを使用したパスワード忘れ／ロック時の救済方法は P.25,26 をご参照ください。

ネットワーク配信ツール

USB メモリにポリシーの更新をネットワーク経由で配信するためのツールです。また、USB メモリの更新状況も履歴として記録することができます。ネットワーク配信ツールを使用したポリシーの更新については、P.27 をご参照ください。

動作環境

OS	Windows 7 Ultimate/Professional/Home Premium/Starter /Enterprise（64bit/32bit） Winsows Vista Ultimate/Home Premium/Home Basic/ Business / Enterprise（～ SP2）（64bit/32bit） Windows XP Home Edition/Professional（各 SP2 以降）（32bit） Windows 2000 Professional（SP4） ※ 日本語 / 英語 OS に対応 ※ Mac ではご利用いただけません
PC のハードウェア	・OS の最低動作環境以上 ・画面解像度 1024×768 以上 ・CD-ROM を再生できる倍速以上のドライブ ・ネットワーク接続 ・USB ポート　USB2.0
その他	・ネットワーク配信ツールはインストール時に管理者権限が必要です。 ・ネットワーク配信ツールをご利用の PC では、AssetFinder Manager を含む他の HTTP サーバソフトウェアと同時にはご利用になれません。 ・Windows 2000 の制限付きアカウントでは、初期化ツールの実行、及びネットワーク配信ツール経由でのポリシー変更はご利用いただけません。

管理者ツールのインストール

管理者ツールの各ツールは、お客様での運用にあわせ、ご利用される PC のアカウント毎にインストールが必要です。アンインストールするには、インストールを行ったツール／アカウント毎に操作が必要となります。

ツールのインストーラのファイル名は以下の通りです。
- ポリシー設定ツール　　：PolicySettingTool.exe
- 期限設定ツール　　：PeriodSettingTool.exe
- レスキューツール　　：RescueTool.exe
- ネットワーク配信ツール　：UpdateServer.exe

＜インストール＞
コンピュータの CD-ROM ドライブに管理者ツールの CD を挿入し、各インストーラをダブルクリックします。画面の指示に従って操作してください。

注意

＊ネットワーク配信ツールのみ、管理者権限が必要です。
＊ネットワーク配信ツールをインストールした PC がネットワーク通信できる状態にしないと、USB メモリ使用時に更新ができません。ログオフ状態でも通信は可能ですが、スリープ状態だと通信できないため PC の設定を再確認ください。
＊ネットワーク配信ツールをインストールした PC に対して、USB メモリは HTTP（80/TCP）の通信を行います。パーソナルファイアウォールの設定の例外に加えてください。

＜アンインストール＞
［スタート］→［コントロールパネル］→［プログラムのアンインストール（Windows XPの場合は［プログラムの追加と削除］、Windows 2000の場合は［アプリケーションの追加と削除］）をクリックします。アンインストールする対象のツールを選択し、アンインストールを行ってください。

各ツールは下記の通り表示されます。
- ポリシー設定ツール　　：TRAVENTY Policy setting tool
- 期限設定ツール　　：TRAVENTY Period setting tool
- レスキューツール　　：TRAVENTY Rescue tool
- ネットワーク配信ツール　：TRAVENTY Update Server

ポリシー設定ツールの操作

ポリシー設定ツールの起動

[スタート]→[(すべての)プログラム]→[ED-CONTRIVE]→[TRAVENTY]→[ポリシー設定ツール]を選択します。ポリシー設定ツールが起動します。

ご利用の USB メモリの製品の選択

ご利用の USB メモリの製品を選択します。本ツールで作成する初期化ツールは、製品ごとに異なります。
TRAVENTY V の USB メモリに対して TRAVENTY 用の初期化ツールはご利用になれません。
また、TRAVENTY の USB メモリに対しても TRAVENTY V 用の初期化ツールをご利用になれませんのでご注意ください。

メイン画面

実行する操作内容を選択します。

設定画面へ
ポリシーの設定を行います。(次ページ以降参照)

設定ファイルを読み込む
過去に作成したポリシーの設定ファイルを読み込みます。

初期化ツール生成
上記操作で設定した内容で初期化ツールを作成する操作に移ります。(P.20 参照)

ポリシーの設定

ポリシーの設定画面について説明します。

設定を行うカテゴリです。
まずこちらを選択します。

具体的な設定を行います。複数ページにわたる
場合は、上部のタブ(白地に黒文字が選択中の
タブです)をクリックして切り替えを行います。

? をクリックすることにより、設定
項目に関する説明が表示されます。

設定が全て完了したら
[設定完了]をクリックします。
メイン画面に戻ります。

情報漏えい対策

パスワードポリシー１

パスワード桁数の設定
パスワードの最小桁数を１～16 桁の間で設定します。(デフォルトは４桁です。)

大文字・小文字の区別
パスワード認証の際にアルファベットの大文字と小文字を区別しない場合にチェックします。

パスワードの使用可能文字種
パスワードに使用する文字種を設定します。使用したい文字種を選択してください。(パスワードに使用する文字種は全て半角になります。)

パスワードポリシー２

パスワードの有効期間
パスワードの有効期間を設定する場合は[パスワードの有効期間日数を設定する]をチェックします。10 日～ 365 日の範囲で設定してください。

パスワード履歴によるパスワード制限
過去に使用したことのあるパスワードを設定できないようにします。(現在使用しているパスワードを１回目としてカウントします)
履歴として１～ 10 回目までのパスワードの禁止設定が可能です。

24 時間内のパスワード変更可能回数
パスワードを 24 時間の間に変更可能な回数を設定します。初期パスワードの設定も１回としてカウントされます。
尚、パスワード設定時からパソコンの時間を戻す操作(24 時間以上)を実施した場合は、回数によらずパスワード変更ダイアログが表示されます。

パスワードユーティリティー

パスワード認証失敗制限

パスワード認証連続失敗回数の設定が可能です。設定した回数を超えてパスワード認証に失敗した場合は、USB メモリのユーザドライブはロックされ、正しいパスワードを入力しても使用できない状態となります。

初期化を行う場合は、パスワードとユーザドライブのデータを初期化します。ポリシーは引き継がれますが、ユーザドライブの追加ファイルについては復旧しません。

パスワードレスキュー

パスワード忘れ／ロック時の救済

パスワードを忘れた場合や、パスワード認証失敗制限回数超過時にロックされた時の救済機能です。
本機能を有効にすると、本操作で設定するレスキュー ID とレスキューツールを使用して強制パスワード変更／ロック解除を行うことができるようになります。

強制パスワード変更／ロック解除の操作については P.25,26 をご参照ください。

マスターパスワード

マスターパスワードを設定していると、パスワードを忘れた際にも、マスターパスワードを使用してユーザドライブを開くことが可能です。
同じ初期化ツールで設定した USB メモリ全てに対して、マスターパスワードが有効になりますので、マスターパスワードの設定、取り扱いについてはご注意ください。

ウイルス対策

ウイルス検知機能

ウイルス検知機能を使用するかどうかを設定します。
USB メモリ使用時にウイルス検知機能の使用有無を選択できるようにする場合は「ユーザによる使用有無を選択させる」をチェックしてください。

メモ	＊本機能は、TRAVENTY V でのみ使用可能です。 ＊ウイルス検知機能は、TRAVENTY V にデータを書き込む際に、自動的にウイルスに感染していないかどうかを監視する機能です。詳細は TRAVENTY V に同梱の「Trend Micro USB Security for Biz クイックスタートガイド」を参照ください。

Autorun.inf ファイル削除設定

本機能を設定した場合、パスワード認証成功後に、ユーザドライブ直下に“Autorun.inf”というファイルが存在した際に、これを削除する処理を行います。
Autorun.inf は指定のプログラムを自動実行するための設定ファイルです。予期せぬ悪意を持ったプログラムの実行を防ぐ手段の一つとして有効です。

資産管理機能

資産管理機能 1

資産管理機能

別売の AssetFinder と組み合わせてご利用になる場合は、「資産管理機能を有効にする」をチェックしてください。
(AssetFinder がないと本機能はご利用いただけませんので、チェックは外して下さい)
「資産管理機能を有効にする」のチェックをしていない場合は、以降の資産管理機能の設定はできません。

注意	＊Mac では、資産管理機能が有効でも、AssetFinder Manager サーバとの通信は行いません。Mac でご利用の場合はオフライン状態として動作しますのでご留意ください。

操作履歴送付先

操作履歴の送信先サーバアドレスを設定します。「送信先サーバアドレス」に、AssetFinder Manager サーバのアドレスを入力してください。
名前解決ができる環境であれば、ホスト名を指定することも可能です。

メモ	＊サーバアドレスは 2 つまで設定することができます。例えば、AssetFinder Manager サーバを社内ネットワークに設置した場合、社内から AssetFinder Manager サーバへ接続する際のローカルアドレス、社外から AssetFinder Manager サーバへ接続する際のグローバルアドレスの 2 つを設定します。 社外からの通信を許可しない場合は、社内用のローカルアドレスのみを指定します。 ＊Windows の「インターネットオプション」でプロキシサーバの設定がされている場合、設定されているプロキシサーバ経由で上記サーバアドレスに対して接続を試みます。

データ強制削除

AssetFinder Manager サーバでユーザ無効化設定(対象の USB メモリの使用を禁止する)を実施した場合の動作の設定を行います。
USB メモリ使用時に AssetFinder Manager サーバと通信した際に、ユーザの有効・無効状態を判定し、無効化状態であれば USB メモリがロックされます。
「ユーザ無効化時にメモリ内のデータを強制削除させる。」をチェックした場合は、無効化状態での使用を試みた際にデータの削除を行います。

資産管理機能 2

取得情報のカスタマイズ

ローカル IP アドレス、コンピュータ名、MAC アドレス、ユーザ名について、利用履歴情報として、取得の有無を設定できます。
チェックを外した場合、取得対象外の情報となり、AssetFinder Manager サーバでは“ー”と表示されます。

オフライン時の動作

オフライン（AssetFinder Manager サーバと通信できない状態）時の動作を設定します。
「オフライン時に USB メモリの使用を禁止する」をチェックすると、AssetFinder Manager サーバと通信できる状態でのみ、USB メモリが使用できるようになります。

起動メッセージ

USB メモリ起動時のメッセージの表示有無を設定します。
「起動時にメッセージを表示する」を選択した場合、起動時に表示するメッセージを自由に設定できるようになります。また、「ユーザが非表示設定にすることを許可する」にチェックをした場合、ユーザがメッセージの表示 / 非表示を選択することが可能になります。
[テスト]をクリックすると、設定したメッセージがどのように表示されるのかを確認することができます。

資産管理機能 3

棚卸し機能を設定する

棚卸し機能を有効にする場合にチェックします。棚卸し期間中に AssetFinder Managaer サーバと通信しなかった場合、USB メモリはロックされます。

ロックを解除するには、P.11「パスワード忘れ／ロック時の救済機能」を使用するか、初期化ツールにより USB メモリを初期化してください。

注意 ＊棚卸し期間中に初期化ツールにより初期化した場合は、その棚卸し期間ではメッセージは表示されません。次回の棚卸し期間から棚卸し機能が有効になります。

棚卸し期間を設定する

棚卸し期間を毎年の月日で設定します。
期間は最大で 6 つまで設定できます。
6 ヶ月を超えた棚卸し期間は設定できません。

棚卸し期間内に USB メモリをオフラインで使用したときのメッセージ

設定した期間において、AssetFinder Manager サーバと通信できない（設定期間内にサーバでその USB メモリが期間内に使用されたことが確認できていない）場合に、メッセージを表示し、棚卸しできるように促します。

ネットワーク配信

ネットワーク配信機能

USB メモリにポリシーの更新をネットワーク経由で配信する場合に有効にします。この機能を有効にした場合、ネットワーク配信ツールをインストールした PC（指定した IP アドレス）に対して、ポリシーの更新があるかどうかのチェックを行います。

ネットワーク配信ツールについては
P.27 を参照ください。

この機能は Mac ではご利用になれません。

制限設定

使用可能期限

USB メモリの使用期限を設定することが可能です。期限の設定・再設定は期限設定ツールを使用します。
期限の最大期間は、期限設定ツールによる期限設定時から数えて 1 ～ 365 日の間で設定可能です。[期間再設定時にユーザドライブを消去する]をチェックしていると、期限の再設定時に USB メモリに保存されているデータが削除されます。

使用可能期限の設定方法については、P.24 を参照ください。

注意 ＊使用可能期限設定を有効した場合は、期限設定ツールによる期限の設定を行わないと使用できません。本機能を有効にした USB メモリのご利用開始前に期限設定ツールによる設定を行ってください。

使用可能 PC

使用PCによりUSBメモリの動作制限を行います。許可PC判定ツールがインストールされたPC以外でのUSBメモリの動作制限方法を選択してください。

許可PC判定ツールの使用方法はP.23をご参照ください。

許可PC判定ツールはMacに対応していないため、この機能を有効にしたUSBメモリはMacではご利用になれません。

本体設定

Mac での利用

Mac で使用するかどうかを選択します。「使用する」を選択した場合、管理用ドライブに Mac 用のプログラムが追加されます。

ドライブ設定

ユーザドライブのサイズ指定
ユーザドライブのサイズを指定することが可能です。利用者で使用できる容量を一定量以下に指定したい場合にご利用ください。USB メモリの容量以上に設定した場合は、初期化ツールによるポリシー設定ができないためご注意ください。

ボリュームラベルの設定
ボリュームラベルをデフォルトから変更することが可能です。ボリュームラベルは小文字で入力しても大文字に設定されます。
デフォルト設定は以下の通りです。

管理用ドライブ：MANAGE_DRV
ユーザドライブ：USER_DRV

ファイル追加

予め、任意のファイルを USB メモリに追加しておくことが可能です。ファイルの追加先ドライブをチェック後、ファイルをドラッグ＆ドロップしてください。
尚、管理用ドライブのファイルは利用者での削除はできません。

追加ファイルの容量に伴い、初期化ツールの容量も増加します。

自動実行ファイルの指定

パスワード認証成功後に、指定したファイルを自動実行することが可能です。自動実行するファイルは「ファイルの追加」で設定したファイルから１つを選択します。
対象ファイルが置かれるドライブをチェックし、ファイルを選択して[ファイルを指定する]をクリックします。
(指定されると対象ファイルが網掛け表示になります)

この機能は Mac ではご利用になれません。

注意

＊ユーザドライブは、利用者でのファイル削除が可能ですので、ユーザドライブのファイルを自動実行対象とした場合で、利用者が対象ファイルを削除した場合は、ファイルの自動実行は行われません。
＊自動実行対象ファイルがテキストファイル等の他のアプリケーションで開かれるファイルの場合、使用した PC で関連付けられているアプリケーションが起動されます。関連付けがされていないファイルが実行された場合、Windows 上で実行した場合と同様エラーが発生します。

初期化ツールの生成

保存するファイルの設定

初期化ツール ID は、初期化ツール起動時に自動的にチェックされ、ID の異なる初期化ツールでの USB メモリの初期化を防止することにより、利用ユーザによる USB メモリの勝手なポリシー変更を不可能にします。
初期化ツール ID は使用可能 PC の制限設定を利用する場合にも使用します。

識別情報は、作成したポリシーを判別するための情報としてご利用ください。ネットワーク配信機能が有効な場合、USB メモリに設定された識別情報と配信されたポリシーの識別情報が異なった際に更新処理が実行されます。

メモ

＊USB メモリに設定されている識別情報は USB メモリ内プログラムの操作により確認することが可能です。
＊設定したポリシーにおいて使用しないファイルは選択できません。

＜完全初期化ツールについて＞
完全初期化ツールは、資産管理機能を有効にした場合に使用します。通常の初期化ツールで初期化した場合、AssetFinder Manager サーバへの登録情報は保持しますが、完全初期化ツールで初期化した場合は工場出荷状態に戻ります。管理者による AssetFinder Manager サーバへのユーザの再登録と、再登録ユーザとして USB メモリの初期登録を実施する必要になります。また、初めて資産管理機能を有効にする場合も完全初期化ツールを使用して初期化してください。

注意

＊新しい初期化ツールを作成して USB メモリの書き換えを行う場合には、USB メモリ内に既に設定されている初期化ツール ID と同じ ID を入力してください。
＊設定した初期化ツール ID の復元はできません。初期化ツール ID の取扱には十分注意し、お客様自身で管理ください。

設定内容の確認

[確認して出力]をクリックすると、設定した内容が一覧で表示されます。
※初期化ツール ID、レスキュー ID、マスターパスワードの情報は表示されません。

設定内容に問題がなければ[出力]ボタンをクリックします。ファイルの出力先フォルダを選択して[OK]をクリックしてください。指定した場所に、識別情報を名前としたフォルダと、そのフォルダ内にファイルが出力されます。

各ファイルの名称は以下の通りです。

・初期化ツール　　：InitTool.exe
・完全初期化ツール　：FullyInitTool.exe
・許可PC判定ツール　：PermitTool.exe
・設定ファイル（TRAVENTY Vの場合）　：Settings.trvv（TRAVENTY Vの場合）
・設定ファイル（TRAVENTYの場合）　：Settings.trvn（TRAVENTY Vの場合）

初期化ツールの使用

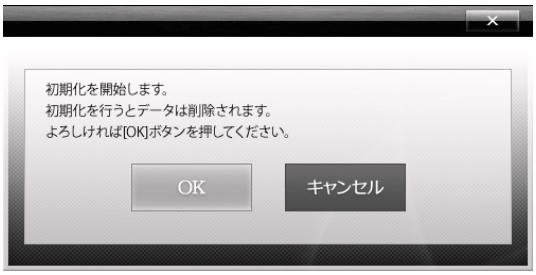
ポリシー設定ツールで作成した初期化ツールで、USB メモリを初期化し、カスタマイズ設定を適用します。

注意	＊初期化した場合には、USB メモリ内の既存データは全て失われます。初期化ツールをご利用になる前に、USB メモリ内にお客様の必要なデータが残ってないかご確認の上、初期化を行ってください。 ＊TRAVENTY 用の初期化ツールと TRAVENTY V の初期化ツールは互換性がありません。それぞれの製品に対応した初期化ツールをご利用ください。 ＊棚卸し機能をご利用の場合は、棚卸し期間中に初期化するとその期間中は棚卸し期間中のメッセージは表示されません。次回の棚卸し期間から機能が有効になります。

1 初期化をする USB メモリを USB ポートに接続します。

2 初期化ツール をダブルクリックします。

3 [OK]をクリックします。



メモ	**＜初期化ツール（InitTool.exe）と完全初期化ツール（FullyInitTool.exe）について＞** ＊通常の初期化ツールはパスワードと USB メモリ内に保存したデータは削除されますが、AssetFinder Manager サーバへの初期登録の情報は保持されます。 ＊完全初期化ツールで完全初期化を行うと、工場出荷状態に戻ります。管理者による AssetFinder Manager サーバへのユーザの再登録と、再登録ユーザとして USB メモリの初期登録を実施する必要があります。 ＊初期設定、及び工場出荷状態に戻したい場合のみ「完全初期化ツール」を使用して下さい。

4 初期化が開始されます。初期化中、USB メモリドライブ関連のウィンドウが表示されることがありますが、初期化が完了するまでは USB メモリを抜かず、操作も行わないようにしてください。

5 完了画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

使用可能PCの制限設定

ポリシー設定ツールで作成した許可 PC 判定ツールをインストールすることにより、USB メモリの設定に応じた制限を行うことが可能です。

注意

＊アカウント毎にインストールが必要です。
＊許可 PC 判定ツールは初期化ツール ID により USB メモリを判断します。対象 PC には、USB メモリと同じ初期化ツール ID を設定した許可 PC 判定ツールインストールしてください。
＊1 つの PC, アカウントに対して、複数の（初期化ツール ID が異なる）許可 PC 判定ツールのインストールが可能です。

＜インストール方法＞

1 許可 PC 判定ツール をダブルクリックします。

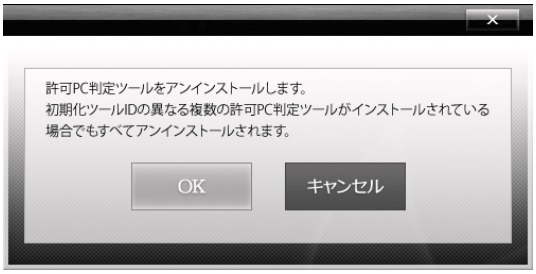
2 ダイアログが表示されますので［OK］をクリックします。

3 完了画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

＜アンインストール方法＞

1 ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［ED-CONTRIVE］→［TRAVENTY 許可 PC 判定ツール］→［アンインストール］を選択します。

2 確認画面が表示されますので、［OK］をクリックします。



注意

＊アカウント毎にアンインストールが必要です。
＊許可 PC 判定ツールのアンインストールは、インストールされた許可 PC 判定ツールを全て削除します。複数の（初期化ツール ID の異なる）許可 PC 判定ツールを個別にアンインストールすることはできません。

使用可能期限の設定

使用可能期限の設定・再設定は、期限設定ツールをインストールしたPCで、期限を設定するUSBメモリを接続して行います。

1 期限を設定するUSBメモリをUSBポートに接続します。

2 [スタート]→[(すべての)プログラム]→[ED-CONTRIVE]→[TRAVENTY]→[期限設定ツール]を選択します。期限設定ツールツールが起動します。

注意	＊期限設定が有効になったUSBメモリが接続されていないと、期限設定ツールは起動しません。

3 必要項目を入力します。現在のパスワード・現在の期限IDはすでに設定されているときのみ入力が必要です。

メモ	＊期限IDは管理者以外による期限の変更を防ぐために設定するものです。USBメモリに設定された期限IDが分からないと期限の再設定はできません。 ＊期限IDは、桁数・大文字と小文字の区別・使用可能文字種・使用しなければならない文字種についてパスワードと同様の制限がかかります。 ＊ご利用のUSBメモリが期限設定時に最大期間を設定している場合、期限設定操作を実行した日から最大期間を超えた日付の設定はできません。

4 必要項目を入力したら、[期限設定]をクリックします。設定が完了すると自動でPCから取り外し処理が行われます。

ロック解除・パスワード強制変更

パスワード忘れ／ロック時の救済機能設定が有効な USB メモリに対して、パスワードの強制再設定、及びロック解除を行う手順について記します。

＜USB メモリでの操作＞

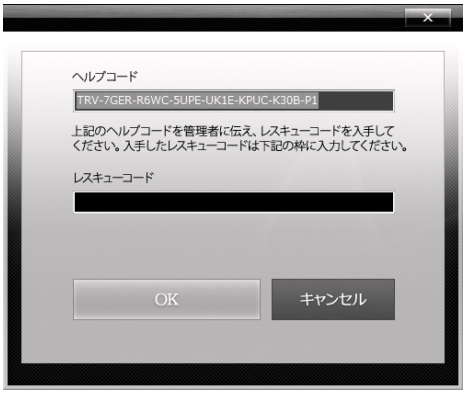
1 パスワード認証画面の[オプションを表示]ボタンを押します。

2 [ロック解除・パスワード強制変更操作]ボタンを押します。

＊パスワード忘れ／ロック時の救済機能設定が有効なときのみ[ロック解除・パスワード強制変更操作]ボタンが有効になります。

3 ヘルプコードが表示されますので、管理者に伝えてください。
(管理者：レスキューツールのご利用方法は次ページを参照ください)

4 管理者からレスキューコードを入手後、レスキューコードを入力し[OK]ボタンを押します。



5 正しいレスキューコードが入力された場合、パスワードの再設定画面が表示されますので新しいパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックします。

＜レスキューツールでの操作＞

1 [スタート]→[(すべての)プログラム]→[ED-CONTRIVE]→[TRAVENTY]→[レスキューツール]を選択し、レスキューツールを起動します。

2 レスキュー ID と USB メモリでの操作で取得したヘルプコードを入力し、[生成]ボタンを押します。

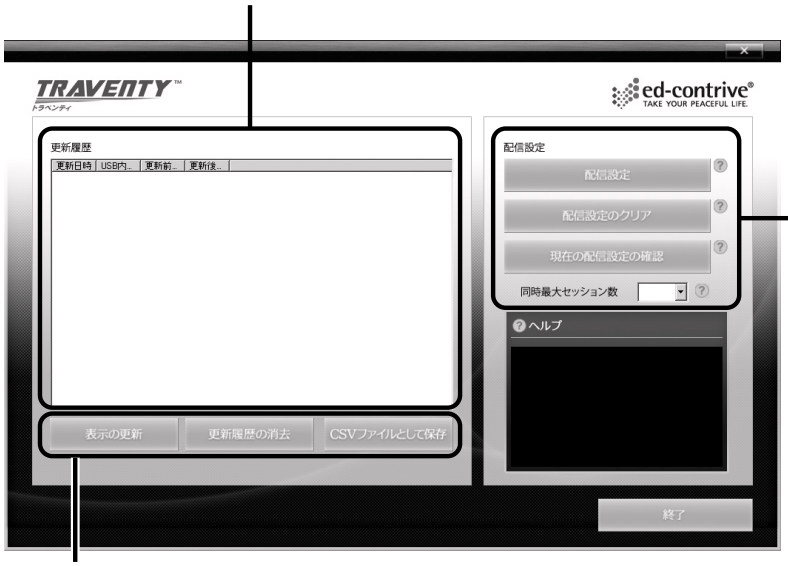
3 レスキューコードが表示されますので、ユーザに伝えてください。

ポリシーのネットワーク経由での配信

＜インストール＞

[スタート]→[(すべての)プログラム]→[ED-CONTRIVE]→[TRAVENTY]→[ネットワーク配信ツール]を選択し、ネットワーク配信ツールを起動します。

ネットワーク配信ツール経由で更新された
USB メモリの更新履歴が一覧で表示されます。



配信設定：
配信を行うポリシーが設定されている初期化ツールを選択します。

配信設定のクリア：
現在の配信設定を取り消します。

現在の配信設定の確認：
現在配信設定されているポリシーを表示します。

表示の更新：
更新履歴をの表示を最新状態に更新します。

更新履歴の消去：
保存されている更新履歴が消去されます。

CSV ファイルとして保存：
現在の更新履歴を CSV ファイルとして保存します。

同時最大セッション数：
ネットワーク配信ツールがインストールされた PC に同時接続する USB メモリの本数を設定します。

メモ

＊新しいポリシーかどうかは「識別情報」が同じであるかどうかで判断します。USB メモリに設定されている識別情報と違う識別情報を持つポリシーが設定されているときのみポリシーが配信されます。

注意

＊ネットワーク配信ツールをインストールした PC がネットワーク通信できる状態でないと、USB メモリ使用時に更新ができません。ログオフ状態でも通信は可能ですが、スリープ状態だと通信できないためご注意ください。

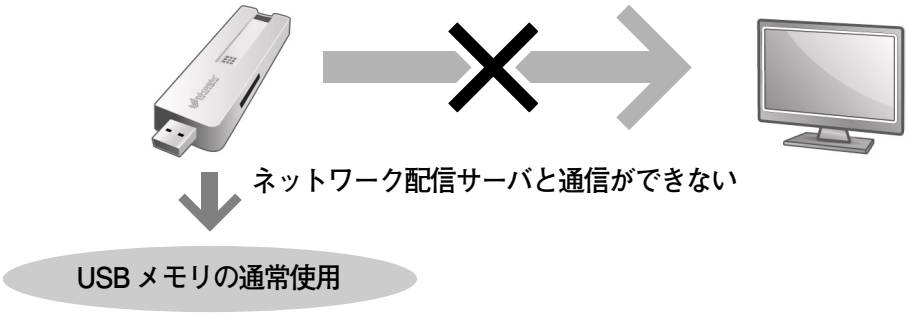
＊ネットワーク配信ツールをインストールした PC に対して、USB メモリは HTTP(80/TCP)の通信を行います。パーソナルファイアウォールの設定の例外に加えてください。

＊ネットワーク配信に関する変更があった場合でも、その設定が反映されます。設定するポリシーに間違いがないか十分に確認を行ってください。

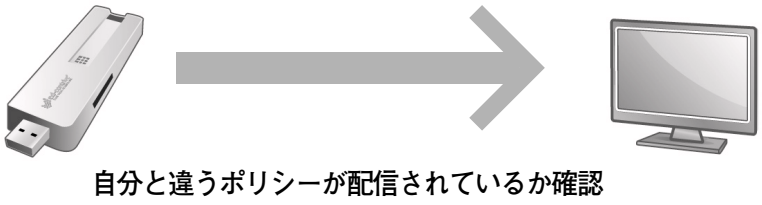
＜USB メモリでの操作＞

ネットワーク配信機能が有効の場合、USB メモリでの**パスワード認証に成功した段階**で、ネットワーク配信ツールをインストールした PC（以下ネットワーク配信サーバといいます）に対して、ポリシーの変更がないかどうかの確認を行います。

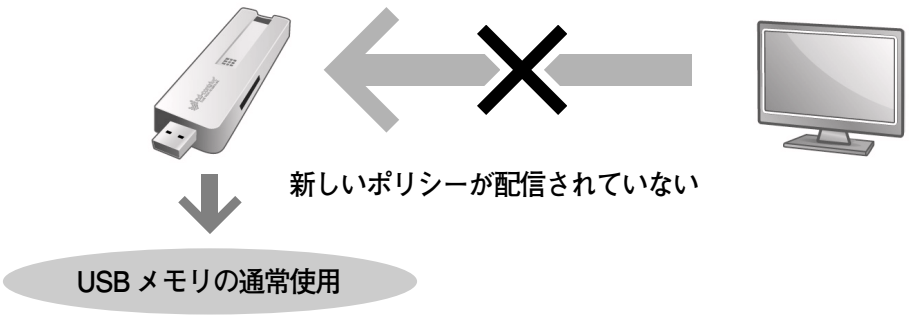
ネットワーク配信サーバと通信できない場合は、通常のパスワード認証成功と同様に、USER_DRV へのアクセスが可能になります。



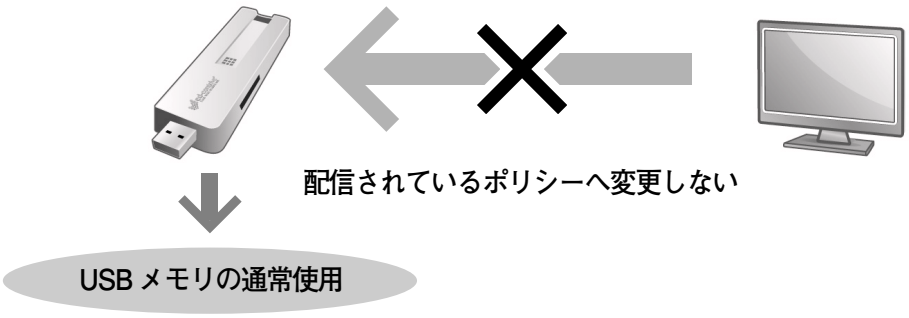
ネットワーク配信サーバと通信できる状態の場合、ネットワーク配信サーバで自身の USB メモリと同じポリシー（識別情報が同じであるか）以外が配信設定されているかを確認します。



新しいポリシー（識別情報が異なるポリシー）が配信されていない場合は、通常のパスワード認証成功と同様に、USER_DRV へのアクセスが可能になります。

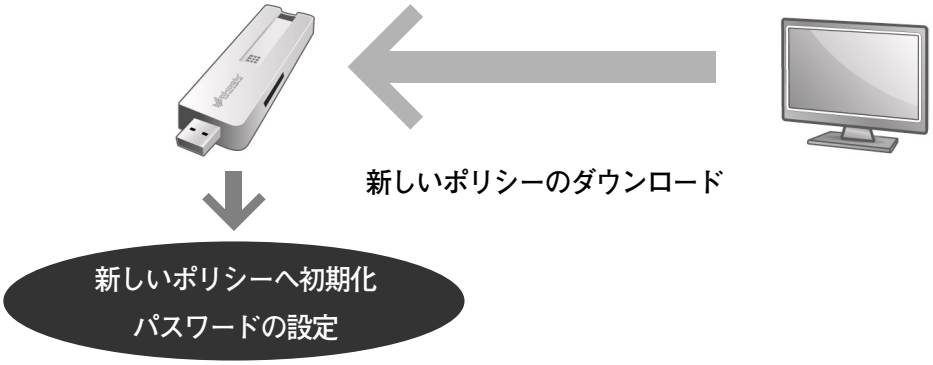


新しいポリシーが配信されている場合は、ただちにポリシーの変更を行うかどうかを選択します。変更を行わない場合は、通常のパスワード認証成功と同様に、USER_DRV へのアクセスが可能になります。



メモ	＊新しいポリシーを適用しなかった場合でも、次回 USB メモリ使用時に新しいポリシーへの更新案内が表示されます。

新しいポリシーへ変更を行う選択をした場合、ネットワーク配信サーバからポリシーをダウンロードし、USB メモリの情報を書き換えます。USB メモリは初期化されますので、パスワードの設定を行います。



注意	＊ 新しいポリシーの適用は、USB メモリの初期化になります。パスワードとデータが消去されますので、ご注意ください。 ＊初期化ツール ID が異なるポリシーの場合、現在 USB メモリに設定されている初期化ツール ID の入力が必要になります。

ユーザー登録・サポート

TRAVENTY 管理者ツールのユーザ登録は下記 web ページより受け付けております。ユーザ登録済みのお客様には、本ソフトウェアに関する情報などをメールにてご連絡いたします。また、本ソフトウェアに関するサポートを希望するお客様は、必ずユーザ登録を行ってください。

http://www.safety-disclosure.jp/user/

TRAVENTY 管理者ツールについてのお問い合わせは下記、サポートページ経由でご連絡ください。

http://www.safety-disclosure.jp/user/support_traventy/

ソフトウェア使用許諾書

1　本ソフトウェアは、イーディーコントライブ株式会社の著作物です。したがって、本ソフトウェア及び本書の全部または一部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2　本ソフトウェア及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。

3　本ソフトウェアの使用または使用できないことにより生じる損害、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、特別損害、または利益の損失につき、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

4　本ソフトウェアの著作権等の知的財産は、いかなる場合においてもお客様に移転されません。

5　本ソフトウェアのソースコードについては、いかなる場合においてもお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解析するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングをすることを禁止します。

6　書面による事前の承諾を得ずに本ソフトウェをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。

7　本製品に関し、日本国内でのみテクニカルサポート及びアフターサービス等を行っております。

8　本ソフトウェアは、「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸送既製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

9　本ソフトウェアは医療機器や人命に直接間接的に関わるシステム、高い安全性が要求される設備や機器に組み込んでの使用は意図されておりません。これらのシステムや設備等に本ソフトウェアを使用され、本ソフトウェアの動作により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。また、高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステム等の安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

10　本ソフトウェアは、ツール毎に一時に一台のパソコンにおいてのみ使用することができます。

11　本ソフトウェアまたはその使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転等の処分を行うことを禁止します。

12　本ソフトウェアに起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本ソフトウェアの購入代金と同額を上限と致します。

13　当社は、お客様が上記のいずれかに違反された場合は、いつでも本ソフトウェアの使用を終了させることができるものとします。

14　ED-CONTRIVE、TRAVENTY、TRAVENTYロゴは、イーディーコントライブ株式会社の商標または登録商標です。

TRAVENTY 管理者ツール
ユーザーズマニュアル
2010 年 7 月初版発行
発行：イーディーコントライブ株式会社